

## 「海の森」アマモ場を守り育てるための技術開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齊藤, 憲治 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012373">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012373</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# 「海の森」アマモ場を守り育てるための技術開発

海区水産業研究部

## 研究の背景・目的

沿岸生態系を豊かにしてくれるアマモ場は徐々に減少している。そこで、行政やNPOなどが中心になり、アマモ場を守り育てる事業が行われるようになった。適地・適種・適法なアマモ場造成の方法を開発するために、全国の水産試験場や水産研究所などのご協力を得て、日本全国のアマモの分布と遺伝的多様性についての研究を行っている。



アマモ場の機能

- ・ 潮流の緩和
- ・ 富栄養化の防止と濁りの除去
- ・ 魚介類のすみか

多様ないきものを支え、豊かな生態系を形成

アマモ場の減少

- ・ 埋め立てや沿岸線の開発
- ・ 環境の変化
- ・ 漁労による掘り起こし

このままでは沿岸の豊かな生態系が失われてしまう

行政やNPO、市民団体によるアマモ場再生の試みが始まる



移植のために遠くから種を持ってきてもいいの？



しかし  
日本沿岸のアマモは遺伝的に同じとはかぎらない  
無秩序な移植は生物多様性を損なうのでは？

アマモ類の分布概要の調査  
遺伝子レベルでのアマモ類の多様性の把握  
生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発  
アマモ場自然再生ガイドライン策定

## 研究成果および波及効果

生物多様性に配慮した日本沿岸域でのアマモ場造成が促進され、漁業資源やレジャーのための環境を守り育てることで、豊かな沿岸環境の回復に道を開くことができる。